

《保護者アンケート結果より》

今年度は、保護者のみなさまには、11項目についてアンケートを実施させていただきました。今年もコロナ禍で制限された中での教育活動となり、保護者の皆様には大変ご心配をおかけした1年となりました。しかしながら、皆様の励ましの声に支えられながら日々の教育活動に勤しんで参りました。今年度も、中止になった行事や参観等もあり、お子さまの学習や生活の様子がおわかりになりにくい状況にもかかわらず、お忙しい中ご回答いただきありがとうございます。

まず、「⑦お子さんは本に親しみ進んで読書をするようになってきた。」の項目において、評価が下がった昨年度よりさらに下がっております。本年度より朝読書を再開したことにより、学校としての不読率は著しく減少したのですが、恒常的な読書習慣には至っていないことを痛感いたしました。今後さらなる改善に取り組んでいきます。「⑤お子さんは命や人権を尊重する態度が身につけてきた。」「⑥お子さんは危険予測・回避能力が身につけてきた」の項目が、共に昨年度より2%程度下回る結果となりました。いずれもここ数年、高い傾向を維持していますが、どちらの項目も学校の安全安心にかかわる項目です。記述評価でも人権学習に対する取り組みの強化を要望するご意見をいただいております。道徳科や人権教育の学習の向上に努めます。この評価で肯定的な意見を多くいただいているのは、青山学区の目指す子供である「主体的に考え、判断できる青山っ子」の育成のため、家庭で、ルールを守り、命や人権、いじめなどの問題について話していただいている成果だと思います。また、地域全体で子供の育成に力を入れてこられている成果でもあると考えます。学校でも、それぞれの場で最適な選択ができるよう日々指導しております。今後も、学校と地域・家庭で連携・協力して、引き続き様々な場面で指導し、よりよい青山っ子の育成に努めて参ります。

また、本年度も感染症対策のため控えたり中止したりした活動が多くありました。来年度は世の中の情勢に合わせて改善していける部分を増やす予定です。そして、日々の教育活動において子どもたちの様子を伝えていくことや、工夫ある教育活動をしていくことが大切であると考えます。保護者の皆様の安心にもつながるよう、ホームページ等を通してよりよい情報の発信や工夫ができるよう努めて参ります。本年度から日々学校の様子を伝えるコーナーを開設いたしましたが、今後もさらに充実させていきます。

次に、「③授業がわかりやすいと話している。」については昨年度同様15%のご家庭が「どちらかと言えばそう思わない」「そう思わない」と回答されました。「⑧お子さんは進んで考えたり、いろいろなことを調べたりするようになった」でも20%の方が「どちらかと言えばそう思わない」「そう思わない」と回答されました。ここ数年本校では、ペアやグループで話し合ったり、考えを深めたりする「学び合い」を進め、様々な場面において友だちと考えを聴き合ったり、伝えたりする習慣が少しずつ定着してきました。しかしながら、コロナ禍でペア学習やグループ学習などが制限され一斉授業が多くなってしまったことは否めません。低学年にもタブレットが日々された今、ICTを活用するなどして、常に授業改善をすすめます。それとともに、一人ひとりの学びの様子を確認し、従来の基礎的な学習スタイルも不変のものとして継続していきます。高学年では一部教科担任制や授業交換も取り入れ、子どもたちがわかりやすいと思える授業づくりに取り組んで参ります。

「⑩先生たちは気軽にお子さんたちの相談に応じてくれていると思う。」は90%の方が肯定的な意見を回答されました。しかしながら、10%の方が「どちらかと言えばそう思わない」「そう思わない」と思っておられます。記述標記でも同様のご意見をいただいていることを重く受け止め、一人一人を大切に、児童とよりよい関わり合いを持てるような学校づくりを進めていく所存です。

「⑨運動会や音楽会で子どもたちはいきいきと取り組んでいる。」「お子さんは夢プロジェクト（青山小中イルミネーションプロジェクト）に進んで楽しんで参加していたと思う。」の両項目はともに肯定的な意見が9割近くを占めております。来年度以降は学校行事の取り組みを工夫して、児童の活躍の場をさらに増やしていきたいと考えています。

いただきましたご意見につきましては、全教職員が受け止め、丁寧に対応していきます。